

令和4年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
資料

令和5年7月

教育委員会事務局 社会教育課

## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料	6
7	事業別実施状況調べ	8
8	予備費の充用調べ	18
9	現金の取扱状況	18
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	18
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	20
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	23
13	職員駐車場の管理状況調べ	23
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	23
15	備品の処分状況調べ	24
16	貸付金等状況調べ	24
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	24

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項

該当なし

(2) 指摘事項

該当なし

(3) 監査意見

該当なし

(4) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	5.4.1 現在	4.4.1 現在	5.4.1 現在	4.4.1 現在	5.4.1 現在	4.4.1 現在	5.4.1 現在	4.4.1 現在	
定員	16	16					16	16	社会教育課(10)、船上山(3)、大山(3)
現員	(6) 23	(6) 23	( )	( )	( )	( )	(6) 23	(6) 23	派遣研修専門指導員受入(6) (船上山、大山各3、うち各1は4月～9月のみ配置) (R5の派遣元: 米子市1、倉吉市1、岩美町、湯梨原町、大山町)
過不足(△)	7	7					7	7	派遣研修専門指導員受入(6)、社会教育課過員(1)
臨時的 任用職員	0	0					0	0	
会計年度 任用職員	1	2					1	2	広報専門員(1)

4 役付職員の調べ

(令和5年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
課長	西尾 麻都子	2年	4月	
課長補佐	(併) 上村 由美子		4	環境立県推進課星空環境推進室課長補佐
課長補佐	尾崎 浩三	1	4	
課長補佐	(併)(兼) 毎野 良子		4	子育て・人財局家庭支援課課長補佐 小中学校課課長補佐
船上山少年自然の家所長	中本 祐二	1	4	
大山青年の家所長	瀬尾 徹治	2	4	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
インターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業	3,026	0	0	0	3,026
将来ビジョン	-				
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(2)人材とっとり①未来を拓く人づくり SDGsゴール(04 質の高い教育をみんなに)				
政策項目	-				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>インターネット環境の急速な発達により、スマートフォン・ゲーム機・タブレット端末等の電子メディア機器が子どもたちの生活の中に浸透し、利用の低年齢化も進んでいることから、保護者や子どもたちに対し、電子メディア機器とのよりよい接し方(*)について教育・啓発を行う。</p> <p>*よりよい接し方…トラブルや犯罪に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることのないよう、インターネットの特性を理解し、モラルやマナー等を考えて電子メディア機器を使用する。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会事業</p> <p>【委託先：鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会】</p> <p>①協議会の開催</p> <p>電子メディア機器との関わり方やインターネット・スマートフォン利用の教育啓発推進の方向性や施策について検討した。(5月27日、1月19日)</p> <p>②「とっとり子どもサミット～インターネットとの理想的な付き合い方を考えよう～」の開催</p> <p>県内の小・中学生と保護者が、インターネットとの適切な付き合い方について話し合うワークショップを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年6月11日(土)、令和4年6月18日(土)、令和4年6月25日(土)</li> <li>・会場：伯耆しあわせの郷、国府町コミュニティセンター、米子コンベンションセンター</li> <li>・参加：65名(小学生8名、中学生7名、保護者50名)</li> </ul> <p>③第52回日本PTA中国ブロック大会くらし大会における「とっとり子どもサミット」の取組発表</p> <p>平成29年度から6年間、本協議会事業として実施してきた「とっとり子どもサミット」(上記②)の取組発表を、第52回日本PTA中国ブロック大会くらし大会で行った。</p> <p>電子メディア機器等の危険性ばかりでなく、より良い使い方について、児童生徒が主体となり考え、取り組んできた内容を発表したほか、SNSトラブルから子どもを守る合言葉「とりのからあげ(※)」の広報・周知も同時に行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年11月12日(土) ・会場：鳥取県立倉吉未来中心</li> <li>・参加：1,285名(オンライン配信視聴含む)</li> </ul> <p>※「とりのからあげ」…以下の頭文字をとった標語。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「と」もだちがきずつくことをしない</li> <li>「り」よう時間をきめよう</li> <li>「の」せない個人情報</li> <li>「か」きんしない</li> <li>「ら」いは相手の事を考えて送信</li> <li>「あ」わないSNSで知り合った人</li> <li>「げ」—むソフトの年齢制限を守る</li> </ul> <p>④「電子メディアとの付き合い方学習ノート」の作成・配付</p> <p>子どもたちが主体的に電子メディア機器の使い方を振り返ったり、家庭で話し合ってルールを決める際や学校での情報モラル教育の充実に資する学習ノート(シート)を作成し、県内の全小・中・高校生に配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種類(作成部数)：小1～小3用、小4～小6用、中・高校生用の3種(合計66,200部)</li> </ul>					

⑤子どもの適切なインターネット利用に関する啓発イベントの実施

関係団体・施設・市町村等が開催するイベントにおいて、適切なインターネット利用に関する啓発を行った。

- ・開催日：令和4年8月21日（日）、令和4年11月19日（土）、令和4年12月11日（日）
- ・会場：鳥取県立倉吉未来中心、鳥取砂丘こどもの国、境港市民交流センターみなとテラス
- ・参加：201名
- ・内容：GIGAクイズラリー、「とりのからあげ」缶バッジ作成、啓発資料の配布等

(2) 鳥取県インターネット問題予防対策事業

情報モラル教育、メディアリテラシー、シティズンシップ等について専門的知識を有する者を県内の学校に派遣し、児童・生徒を対象とした授業と併せて教職員研修を行った。（新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ、オンラインでも実施）

- ・派遣実績：20校（小学校12校、中学4校、高等学校3校、特別支援学校1校）

(3) インターネットとの適切な接し方教育啓発講師派遣事業

【委託先：NPO法人こども未来ネットワーク】

①鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員派遣

P T Aや地域等で開催される学習会に、ケータイ・インターネット教育推進員を講師として派遣した。

- ・推進員：25人（令和4年度末）
- ・派遣実績：45件（保育園・幼稚園7件、小学校23件、中学校5件、高校5件、その他5件）

②乳幼児保護者向けチラシの作成・配布

電子メディア機器利用の低年齢化が進んでいることから、乳幼児期の電子メディア機器の適切な利用について啓発するチラシを作成・配布した。

- ・配布先：県内の幼稚園・保育所・認定こども園等
- ・作成部数：約26,500部

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 事業成果（改善状況）

- ・とっとり子どもサミットの開催や、電子メディアとの付き合い方学習ノートの活用等により、子どもが主体的に電子メディア機器の使用ルールを考えたり、作成したルールを大人（保護者）と共有し理解を深める契機とすることができた。
- ・コロナ禍においても、オンラインを活用した講師派遣や、感染防止対策を講じた啓発活動の実施により、情報モラル教育の重要性について意識を高めることができた。

(2) 課題

- ・GIGAスクールや社会のデジタル化の進展に伴い、子どものICTの活用を前提として、安全でより良い使用につながる啓発、情報発信が行えるよう関係者と協力して取り組む必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
地域学校協働活動推進事業	36,099	17,744			18,355
将来ビジョン	6【育む】次代に向けて、躍動する「ひと」を育む (1) 地域や職場との連携などにより、安心して子育てできる環境が進展 (3) 子どもたちの地域への愛着と誇りが醸成				
令和新時代創生戦略	2. 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (2) 人財とっとり ②地域を支える人財の育成 S D G s ゴール (04 質の高い教育をみんなに)				
政策項目	-				
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>社会総がかりで子どもたちを育むために、公立学校に学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール（※）、以下「CS」という。）を導入し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を確立する。また、学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子どもたちを育成するとともに、学校を核とした地域づくりを推進する。</p> <p>※学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）  …保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参加することにより、学校と地域が一体となって、子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を実現するための仕組み。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況</p> <p>(1) 県実施事業</p> <p>①CSと地域学校協働活動の一体的推進に関する研修・資料配布</p> <p>ア 令和4年度鳥取県「コミュニティ・スクール推進研修会」兼「地域学校協働活動研修会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年11月14日（月）</li> <li>・開催場所：米子市淀江文化センター（※ライブ配信と併用）</li> <li>・対象：県・市町村行政関係者、学校管理職、教職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、公民館職員、学校支援ボランティア、PTA関係者、保護者、地域住民等</li> <li>・参加者数：300名（会場137名、ライブ配信163名）</li> <li>・内容：パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>事例発表者 鳥取県立岩美高等学校 校長</li> <li>岩美町教育委員会事務局 社会教育係 主任</li> <li>山口県萩市立萩東中学校 学校運営協議会委員</li> </ul> </li> <li>進行役 文部科学省CSマイスター（南部町教育委員会教育長）</li> <li>コメンテーター 文部科学省CSマイスター（山口県教育庁義務教育課 主幹）</li> </ul> <p>講義「CSと地域学校協働活動の一体的推進について」</p> <p>講師 文部科学省CSマイスター（山口県教育庁義務教育課 主幹）</p> <p>イ パンフレットや動画を活用した啓発・伴走支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CSと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットを配布するとともに、啓発動画を作成し、市町村教育委員会事務局等を対象に、CSと地域学校協働本部の導入と一体的推進の必要性等について説明等を行った。</li> <li>・パンフレット配布先（配布部数）：県内全公立学校・公民館、市町村教育委員会事務局（2,000部）</li> <li>・動画再生回数：630回（R5.3.31時点。R5.6月末現在で922回再生。）</li> </ul> <p>②放課後子供教室等の地域学校協働活動に対する支援</p> <p>ア 放課後児童クラブ・放課後子供教室安全管理研修会の開催</p> <p>放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ及び放課後子供教室関係者を対象に安全管理に関する知識や技能を高めるための研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、動画配信により研修を実施</li> <li>・視聴者数：125名</li> <li>・配信の期間：令和5年2月20日（月）から3月10日（金）まで</li> </ul>					

・内容：「発達障がい者の特性、特性が気になる子どもへの支援のコツ、支援の実際等」

講師：『エール』発達障がい者支援センター 係長

イ 放課後児童クラブ・放課後子供教室指導者等研修会の開催

放課後児童クラブを所管する子育て王国課と協力して、放課後児童クラブ・放課後子供教室等の指導者等を対象に、専門的な知識と指導技術の習得のための研修を開催した。

・実施方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、Web会議システムにより研修を実施

・開催日：令和4年7月15日（金）

・参加者数：138名

・内容：「子どもや保護者との関係構築について」

講師：岡山コミュニケーション研修講演企画 代表

ウ 令和4年度鳥取県子どもの学びの環境等生活困難者対策連絡会議研修会

困難を抱える家庭への学習支援等を所管する家庭支援課と協力して、子どもの貧困対策の一つでもある地域未来塾等の学習支援の取組の効果と、貧困の連鎖を断ち切るために必要な力を育むための実践と成果について知り、関係者の資質向上及び今後の取組の充実を図った。

※地域未来塾：中学生等を対象に地域住民（退職教員や大学生等）の協力により実施する学習支援

・開催方法：新型コロナウイルス拡大防止のため、Web会議システムにより研修を実施

・対象者：県・市町村福祉部局担当者、県・市町村教育委員会関係課、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会、各市町村社会福祉協議会、ソーシャルスクールワーカー、地域コーディネーター、学習支援事業実施団体、こども食堂運営団体等

・参加者数：25名

・開催日：令和5年3月14日（火）

・内容：テーマ「困難のある子どものためのサポート方法や学習支援について」

講師：特定非営利活動法人あつとすくーる 理事長

(2) 市町村への補助事業

国庫補助（学校を核とした地域力強化プラン事業）を活用した市町村への財政支援（市町村事業費の2/3(国1/3、県1/3)）

・補助金活用市町村数：17市町村1学校組合（中核市は国が直接補助）

・補助対象事業：CSの導入、放課後子供教室の実施、地域未来塾の実施等

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 成果及び効果

・コロナ禍でも研修会の実施方法を動画配信やオンライン形式等に替えるなど工夫したことで多くの人への情報提供や事例の共有を図ることができた。

・CSと地域学校協働活動の一体的推進に係るパンフレットを用いて事業説明を行うことにより、取組の一層の理解と推進を図ることができた。

【鳥取県教育振興基本計画（2019年度～2023年度）に掲げる関連指標の状況】

項目	目標値 (令和5年度)	令和4年度末	令和3年度末
学校支援ボランティア登録数	9,000人	6,407人	6,540人
地域学校協働本部を整備している公立学校の割合	全ての公立学校	62.8%	56.8%
CSを導入している公立学校の割合	全ての公立学校	88.9%	67.5%

(2) 課題

・県教育審議会生涯学習分科会の建議「地域の特性を生かした持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協働活動について」（令和4年9月）を踏まえ、市町村や学校、地域の状況に応じ、CSと地域学校協働活動に関し、制度や活動への理解促進、人材確保・育成、円滑な導入・運営への支援を継続して行う必要がある。

## 6 決算資料

## 一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予算額			現額			調定額 A	収入済額 B	不納欠 損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	繰越費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
	教育使用料	305,000	0	0	305,000	0	330,740	330,740	0	0		
歳	行政財産使用料	116,000	0	0	116,000	0	122,920	122,920	0	0		
入	教育費国庫補助金	27,787,000	△2,652,000	0	25,135,000	0	19,882,000	19,882,000	0	0		
	雑入	0	0	0	0	0	247,577	247,577	0	0		
	繰越金	(0)	(0)	(3,900,000)	(3,900,000)	(3,900,000)	(3,900,000)	(3,900,000)	(0)	(0)		
	教育債	(0)	(0)	3,900,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000	0	0		
		96,000,000	48,000,000	(26,000,000)	(26,000,000)	(26,000,000)	(26,000,000)	(26,000,000)	(0)	(0)		
	合計	(0)	(0)	26,000,000	170,000,000	170,000,000	120,000,000	120,000,000	0	0		
		124,208,000	45,348,000	(29,900,000)	(29,900,000)	(29,900,000)	(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	(0)		
				29,900,000	199,456,000	199,456,000	144,483,237	144,483,237	0	0		



一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	算 現 額				支 出 済 額		翌年度繰越額		差引残額 （不用額） A-B-C	備考	
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計 A	B （決算額）	本庁	出納機関			
歳 出	財産管理費	0	0	0	8,384,000	8,384,000	3,919,000	3,919,000	0	0	4,465,000	
	社会教育総務費	79,544,000	△7,170,000	0	△438,000	71,936,000	55,972,132	54,923,656	1,048,476	0	15,963,868	
	青少年社会教育施設費	152,283,000	△12,629,000	0	△215,820	139,438,180	91,383,743	87,082,743	4,301,000	43,615,000	4,439,437	
	生涯学習センター費	(0)	(0)	(29,900,000)	(0)	(29,900,000)	(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	(0)	(0)	
		144,861,000	61,580,000	29,900,000	653,820	236,994,820	225,193,920	225,193,920	0	11,740,000	60,900	
	376,688,000	41,781,000	29,900,000	8,384,000	456,753,000	(29,900,000)	(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	55,355,000	24,929,205	
						376,468,795	371,119,319	5,349,476				

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算			現額		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						計 A
(目名) 財産管理費											
指定管理施設 の光熱費 高騰対策費	0	0	0	8,384,000	8,384,000	3,919,000	0	4,465,000	46.7	全国的に電気・ガス代の高騰が続ぎ、県立の指定管理施設においても光熱費の支払額が増加していることを踏まえ、公の施設の安定運営を実施し、県民福祉の向上を図るため、指定管理施設の光熱費を追加負担した。	
施設名	上限額			追加負担額							
生涯学習センター	6,764千円			3,000千円							
船上山少年自然の家	919千円			919千円							
大山青年の家	701千円			0円							
目計	0	0	0	8,384,000	8,384,000	3,919,000	0	4,465,000	46.7	(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 令和3年度の光熱費決算額・物価の伸びを考慮した率を乗じて算出した上限額より、各指定管理施設が必要とする額が低かったため。	
(目名) 社会教育総務費											
社会教育企 画費	6,644,000	0	0	△438,000	6,206,000	4,971,373	0	1,234,627	80.1	(1) 教育審議会生涯学習分科会兼社会教育委員会会議の開催 社会教育委員会会議がコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について調査・審議し、地域の特性を生かし持続可能な活動としていくための考え方と施策例を取りまとめた建議書を県教育委員会へ提出され、また、社会教育関係団体への補助制度、子どもの自然体験活動等について意見を伺った。	
期日	会場	会議の内容									
令和4年8月31日	鳥取県東部庁舎	・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進に関する建議(案)について									
令和4年9月22日	—	建議「地域の特性を生かした持続可能なコミュニティ・スクールと地域学校協働活動に向けて」を教育長に提出									
令和4年11月18日	伯耆あわせの郷	・令和5年度社会教育関係団体への補助金について ・任期中の調査・審議事項について									
令和5年3月16日	県立生涯学習センター	・任期中の調査・審議事項について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に関する取組状況の報告									

(2) 各種研修派遣

第64回全国社会教育研究大会兼第44回中国・四国地区社会教育研究大会（広島大会）へ生涯学習分科委員会を派遣した。

(3) とっとり県民カレッジ講座の開催

市町村と連携し地域課題の解決につなげられるテーマの講座を開催するとともに、県内大学と連携しながら、県民の多様なニーズに応える学習機会を提供した。

① とっとり県民カレッジ講座（市町村連携）

ア 通常講座

期日	会場	開催テーマ	連携先市町村等	受講者数	備考
令和4年7月17日	上灘コミュニティセンター	つながる先の可能性！～地域と若者がまちを変える～	倉吉市教育委員会	28人	動画視聴回数 276回
令和4年9月3日	若桜町公民館	えっ！若桜ってこんなすてきなまちだったの？「わ」ワクワク！「か」感動！「さ」再発見！	若桜町教育委員会	53人	動画視聴回数 338回
令和4年10月8日	境港市民交流センター 一みなとテラス	地域を育む「まちに飛び出す高校生」	西部地区社会教育担当 当者研究協議会	午前86人 午後76人	動画視聴回数 510回

イ 特別講座（県内大学と連携実施）9回実施

大学名	受講者数
鳥取看護大学・鳥取短期大学（5回）	279人
公立鳥取環境大学（2回）	43人
鳥取大学（2回）	145人
計	467人

② 連携講座 93機関 1,710講座

(4) 中学校トークプログラムの普及

中学生と地域の大人・大学生が少人数のグループで、働き方や生き方等のテーマに沿って自由に話す「中学校トークプログラム」を実施する市町村や学校を支援し、中学生の自己肯定感、ふるさとに対する貢献意識の向上を図った。

<実施状況>

実施日	実施校	参加人数
令和4年6月28日	伯耆町立岸本中学校	130人(中学校3年生:67人、地域の大人:39人、大学生:24人)
令和4年9月22日	米子市立美保中学校	94人(中学校3年生:52人、地域の大人:26人、大学生:16人)
令和4年11月13日	鳥取市立東中学校	192人(中学校2年生:125人、地域の大人:35人、大学生:32人)
令和4年11月19日	鳥取市立千代南中学校	55人(中学校2年生:20人、地域の大人:11人、大学生:24人)
令和4年11月19日	日野町立日野中学校	91人(中学校1～3年生:46人、地域の大人:24人、大学生:21人)
令和4年12月3日	鳥取市立気高中学校	94人(中学校2年生:45人、地域の大人:21人、大学生:28人)
令和4年12月9日	米子市立湊山中学校	171人(中学校2年生:111人、地域の大人:46人、大学生:14人)
令和5年2月6日	伯耆町立溝口中学校	55人(中学校2年生:25人、地域の大人:14人、大学生:16人)
令和5年2月10日	江府町立奥大江山府学園	57人(義務教育学校6、7年生:27人、地域の大人:14人、大学生:16人)
令和5年2月24日	境港市立第二中学校	194人(中学校2年生:100人、地域の大人:56人、大学生:38人)

(流用438,000円のうち、142,000円は大山青年の家運営費へ流用、296,000円は生涯学習センター運営費へ流用)

事業名	予算			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越費及び 繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
(主) インターネットと の適切な接 し方教育啓 発推進事業	4,700,000	0	0	0	0	4,700,000	3,025,811	0	1,674,189	64.4	
<p>主な事業に関する調べのとおり</p> <p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由)</p> <p>インターネットとの適切な接し方教育啓発講師派遣事業の委託先において、新型コロナウイルス感染症の影響によりケータイ・インター・ネットワーク教育推進員の派遣中止が相次ぎ、事業の一部を中止したことによる戻入があったため。</p>											
県市町村社 会教育振興 事業	2,765,000	△518,000	0	0	0	2,247,000	1,765,670	0	481,330	78.6	

地域の教育力を高め、県全体の社会教育の推進を図るため、市町村、公民館等の社会教育関係者等を対象とした各種研修会を実施した。

- (1) 県・市町村対象の生涯学習・社会教育担当者研修の実施
- (2) 社会教育協議会主催の研修会に対する助成
- (3) 社会教育主事養成講座の実施

事業名	算 現 額		予 算		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減						計 A
社会教育関係団体等による地域づくり支援事業	期日		内容		内容		受講人数	受講人数	修了者数	
	令和5年1月13日(金)～2月17日(金) (土日祝日) (集合開催8日間)		琴浦町生涯学習センター		生涯学習概論、社会教育経営論(オンライン) 生涯学習支援論、社会教育演習(オンラインと集合を組み合わせて実施)		25名	25名	17名	
	(4) 鳥取県地域コーディネーター養成講座		修了者58名(全日程(4講座)を修了した者。昨年度と今年度で分割受講した者を含む。)							
	第1回	令和4年6月30日(木)	社会教育の理解				54名			
	第2回	令和4年7月12日(火)	学校と地域の連携・協働				54名			
第3回	令和4年9月7日(水)	コーディネートの実際①				60名				
第4回	令和4年10月13日(木)	コーディネートの実際②				50名				
本の大好きな子どもを育てるプロジェクト	当初予算額	6,308,000	△1,464,000	0	0	4,844,000	4,643,535	0	200,465	95.9
	事業内容	青少年の健全育成、家庭・地域の教育力の向上及び本県の生涯学習の推進を図ることを目的に、社会教育関係団体が行う人材育成、指導者養成及び調査研究活動を助成した。 交付先：鳥取県PTA協議会、鳥取県PTA協議会、鳥取県高等学校PTA連合会、鳥取県連合青年団、ガールスカウト鳥取連盟、日本ボーイスカウト鳥取連盟、鳥取県子ども会育成連絡協議会、鳥取県連合婦人会								
1,281,000	0	0	0	0	1,281,000	783,573	0	497,427	61.2	
子どもたちがより効果的に本との関わりを持つための取組として、子ども読書アドバイザーの派遣や児童・生徒の読書推進の啓発など、子どもの読書活動を推進するための事業を展開した。										
(1) 子ども読書アドバイザーの派遣等										
子ども読書に関する知識や豊富な経験を持つ「子ども読書アドバイザー」を保護者会や読み聞かせボランティアの研修会に講師として派遣した。また、読書アドバイザーの技能向上を図るため研修会を開催した。										
① 読書アドバイザーの派遣										
・派遣件数：10件(読み聞かせボランティア、保護者、子育て支援者等への研修8件 主に生徒への研修2件)										
・アドバイザー：35人(令和4年度末)										

②研修会の開催（共催：鳥取県立図書館）		<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>会場</td> <td>研修のテーマ</td> <td>受講者数</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月11日</td> <td>— (オンライン開催)</td> <td>子どもと本をつなぐ～絵本・お話・図書館の裏側～</td> <td>47人（うちアドバイザー11人）</td> </tr> </table>		期日	会場	研修のテーマ	受講者数	令和5年3月11日	— (オンライン開催)	子どもと本をつなぐ～絵本・お話・図書館の裏側～	47人（うちアドバイザー11人）																
期日	会場	研修のテーマ	受講者数																								
令和5年3月11日	— (オンライン開催)	子どもと本をつなぐ～絵本・お話・図書館の裏側～	47人（うちアドバイザー11人）																								
<p>(2) 乳幼児期の子どもと保護者を対象にした啓発活動 市立図書館等と連携して乳幼児期の読書習慣定着に向けた啓発イベントを実施した。（共催：鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会）</p>		<table border="1"> <tr> <td>期日</td> <td>会場</td> <td>参加者数</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td>令和4年11月19日</td> <td>チュウブ鳥取砂丘子ども園</td> <td>48名</td> <td>未就学児から小学校低学年の子どもと保護者を対象としたオリジナルの絵本バックづくり体験</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月11日</td> <td>境港市民交流センターみなとテラス</td> <td>52名</td> <td></td> </tr> </table>		期日	会場	参加者数	内容	令和4年11月19日	チュウブ鳥取砂丘子ども園	48名	未就学児から小学校低学年の子どもと保護者を対象としたオリジナルの絵本バックづくり体験	令和4年12月11日	境港市民交流センターみなとテラス	52名													
期日	会場	参加者数	内容																								
令和4年11月19日	チュウブ鳥取砂丘子ども園	48名	未就学児から小学校低学年の子どもと保護者を対象としたオリジナルの絵本バックづくり体験																								
令和4年12月11日	境港市民交流センターみなとテラス	52名																									
<p>(3) 中学生・高校生ポップコンテンツ 読書離れが顕著なる中学生・高校生に本を読む機会、読書の意義を他者に伝える体験を提供するため、コンテンツを実施した。（共催：鳥取県書店商業組合、鳥取県図書館協会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集期間：令和4年8月1日～9月30日</li> <li>・応募作品総数：879点</li> <li>・優秀賞：40点（うち、10点は鳥取県書店商業組合が選定する特別賞を受賞）</li> </ul> <p>優秀賞受賞作品は書店で展示したほか、店頭や公立図書館で本の紹介に活用した。</p>																											
<p>(不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により、子ども読書アドバイザーの派遣が少なかったため。</p>																											
事業名	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">予算</th> <th colspan="2">現額</th> <th rowspan="2">計 A</th> <th rowspan="2">支出済額 (決算額) B</th> <th rowspan="2">翌年度 繰越額 C</th> <th rowspan="2">差引残額 (不用額) A-B-C</th> <th rowspan="2">執行 率 B/A</th> <th rowspan="2">事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等</th> </tr> <tr> <th>当初予算額</th> <th>補正予算額</th> <th>継続費及び 繰越事業費 繰越額</th> <th>予備費 支出及び 流用増減</th> </tr> <tr> <td>452,000</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>452,000</td> <td>94,426</td> <td>0</td> <td>357,574</td> <td>20.9</td> <td></td> </tr> </table>			予算		現額		計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	452,000	0	0	0	452,000	94,426	0	357,574	20.9	
予算		現額		計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C							執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等												
当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減																								
452,000	0	0	0	452,000	94,426	0	357,574	20.9																			
児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業	<p>家庭環境等の違いのために生じる「体験格差」の是正のため、児童養護施設等を対象とした自然体験活動を行った。</p> <p>(1) 自然体験活動の実施 参加施設：2施設 参加人数：合計20人 実施場所：空山ポニー牧場、大山青年の家 実施内容：県立施設等の指導員の指導・助言により、日帰りあるいは出前活動で自然体験活動を行った。（主な活動内容）ポニー教室、自然散策、クラフト、野外炊事 等</p>																										

事業名	(2) 報告会は新型コロナウイルスの影響により中止 (不用額が予算現額の3割以上となった理由) 新型コロナウイルスの影響により予定していた事業が中止となったため。										事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等																					
	予		算		現		額		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C		差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A																			
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A	計 A																										
(主) 地域 学校協働活 動推進事業	49,838,000	△4,706,000	0	0	45,132,000	36,098,651	0	9,033,349	80.0																							
とっとりふ れあい家庭 教育応援事 業	7,556,000	△482,000	0	0	7,074,000	4,589,093	0	2,484,907	64.9																							
<p>家庭の教育力の向上を図るため、身近な地域において家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の設置促進、市町村担当者や家庭教育支援員等への学習機会の提供、相談体制の充実等きめ細かな支援を行うことにより、地域全体で家庭教育を支えていく人材育成・基盤形成を推進した。</p> <p>&lt;家庭教育を支援する人材の育成&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会</th> <th>期日</th> <th>講師</th> <th>受講人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて</td> <td>令和4年7月7日</td> <td>南部町教育委員会 人権・社会教育課 家庭教育推進員 大阪教育大学 教育学部 教授</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>第2回 チーム員・支援者としてのスキルアップ</td> <td>令和4年10月3日</td> <td>臨床心理士</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>第3回 支援方法の立て方、ケース会議の手法</td> <td>令和4年9月22日</td> <td>鳥取県福祉相談センター 次長 いじめ・不登校対策センター 指導主事</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて</td> <td>令和4年11月24日</td> <td>鳥取市賀露地区公民館 主任 岡山県教育庁 生涯学習課 社会教育主事 岡山県勝央町教育振興部 社会教育主事 岡山県勝央町家庭教育支援チーム 家庭教育専門員</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;家庭教育に関する学習機会の提供&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とっとり子育て親育ちプログラム」：ファシリテーター7名を9ヶ所へ派遣</li> <li>・家庭教育支援アドバイザー派遣：アドバイザー2名を7ヶ所へ派遣</li> </ul>													研修会	期日	講師	受講人数	第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて	令和4年7月7日	南部町教育委員会 人権・社会教育課 家庭教育推進員 大阪教育大学 教育学部 教授	61人	第2回 チーム員・支援者としてのスキルアップ	令和4年10月3日	臨床心理士	52人	第3回 支援方法の立て方、ケース会議の手法	令和4年9月22日	鳥取県福祉相談センター 次長 いじめ・不登校対策センター 指導主事	46人	第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて	令和4年11月24日	鳥取市賀露地区公民館 主任 岡山県教育庁 生涯学習課 社会教育主事 岡山県勝央町教育振興部 社会教育主事 岡山県勝央町家庭教育支援チーム 家庭教育専門員	38人
研修会	期日	講師	受講人数																													
第1回 市町村の家庭教育支援充実に向けて	令和4年7月7日	南部町教育委員会 人権・社会教育課 家庭教育推進員 大阪教育大学 教育学部 教授	61人																													
第2回 チーム員・支援者としてのスキルアップ	令和4年10月3日	臨床心理士	52人																													
第3回 支援方法の立て方、ケース会議の手法	令和4年9月22日	鳥取県福祉相談センター 次長 いじめ・不登校対策センター 指導主事	46人																													
第4回 子育て・家庭教育支援の充実に向けて	令和4年11月24日	鳥取市賀露地区公民館 主任 岡山県教育庁 生涯学習課 社会教育主事 岡山県勝央町教育振興部 社会教育主事 岡山県勝央町家庭教育支援チーム 家庭教育専門員	38人																													

	<p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鳥取県家庭教育推進協力企業：945社（令和5年3月現在）</li> </ul> <p>※鳥取県家庭教育推進協力企業：保護者である従業員が子育てしやすく、また、子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりに自主的に取り組む企業として、鳥取県教育委員会と協定を結んだ企業</p> <p>（不用額が予算残額の3割以上となった理由） 市町村への補助金について、新型コロナウイルス感染症の影響により2月補正時の減額を上回る不用額が出たため。また、家庭教育アドバイザー等の派遣が少なかったため。</p>									
目 計	79,544,000	△7,170,000	0	△438,000	71,936,000	55,972,132	0	15,963,868	77.8	
事業名	当初予算額		予 算 現 額		計 算 額		翌年度繰越額	差引残額	執行率	事業計画と実績・成果、繰越、不用額の理由等
	補正予算額	繰越費及び繰越事業費繰越額	予備費	支出及び流用増減	A	B	C	A-B-C	B/A	
(目名) 青少年社会教育施設費										
船上山少年自然の家運営費	101,694,000	△9,726,000	0	△477,820	91,490,180	46,323,694	43,615,000	1,551,486	50.6	
	<p>船上山少年自然の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者 (R31～R6) TKSS・富士総合警備保障共同企業体・管理委託費 42,048,181円</li> <li>(1) 年間受入者数 日帰り6,520人 宿泊4,623人 計11,143人</li> <li>(2) その他施設修繕等</li> <li>(3) 主催事業の実施</li> </ul> <p>新型コロナウイルス等の影響により、当初予定していた29事業のうち25事業を実施した。</p> <p>主催事業の実施状況：魚つかみ楽しみ隊、ちっちゃい体験隊等17事業 参加者数：1,215人(左記は(1)の内数)</p> <li>(4) 鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催 指定管理者に管理を行わせている県立施設の管理運営状況の評価を実施した。</li> <p>(流用477,820円のうち、120,000円は大山青年の家運営費へ流用、357,820円は生涯学習センター費へ流用)</p> <p>(繰越となった理由) 受水槽更新工事について、新型コロナウイルス感染症の影響により、消火栓ポンプの制御盤に使用される半導体が不足しており、消火栓ポンプが年度内に納入されず工事が完了できなかったため。</p>									



事業名	予算額			現額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
大山青年の 家運営費	49,649,000	△2,090,000	0	262,000	47,821,000	44,944,626	0	2,876,374	94.0		
<p>大山青年の家の運営及び施設の維持管理を行った。</p> <p>・指定管理者 (H31～R5) (公財) 鳥取県教育文化財団 - 管理委託費 42,421,359円</p> <p>(1) 年間受入者数 日帰り12,269人 宿泊6,441人 計18,710人</p> <p>(2) その他施設修繕等</p> <p>(3) 主催事業等の実施</p> <p>新型コロナウイルス等の影響により、当初予定していた25事業のうち20事業を実施した。</p> <p>主催事業の実施状況：ファミリーエンジョイカヌー、はじめての冒険等20事業 参加者数：1,012人(左記は(1)の内数)</p> <p>(4) 鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催 指定管理者に管理を行わせている県立施設の管理運営状況の評価を実施した。</p> <p>(流用262,000円のうち、142,000円は社会教育企画費より流用、120,000円は船上山少年自然の家運営費より流用)</p>											
鳥取県の美 しい星空環 境を活かし た体験活動 等推進事業	940,000	△813,000	0	0	127,000	115,423	0	11,577	90.9		
<p>鳥取県星空保全条例の趣旨を踏まえ、星空観察会を実施し、星空環境を活用した教育の機会を提供した。船上山少年自然の家、大山青年の家の各指定管理者に委託。なお、新型コロナウイルスの影響により、移動式プラネタリウムを使用しての活動は中止した。</p> <p>(1) 学校行事及び県立青少年社会教育施設における星空観察事業 主催事業：2事業(船上山少年自然の家 4事業・108人、大山青年の家 1事業・30人) 受入団体：1団体(船上山少年自然の家 1団体・11人、大山青年の家 3団体・156人)</p> <p>(2) 移動式プラネタリウム実施事業 令和4年度は新型コロナウイルスの影響により中止</p>											
目 計	152,283,000	△12,629,000	0	△215,820	139,438,180	91,383,743	43,615,000	4,439,437	65.5		

事業名	予算額			算現額		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
(目名) 生涯学習センター 生涯学習センター運営費	96,430,000	△1,525,000	0	653,820	95,558,820	95,498,720	0	60,100	99.9	
<p>生涯学習センターの管理運営を指定管理者により行った。</p> <p>・指定管理者 (H31～R5) (公財) 鳥取県教育文化財団 ・管理委託費 94,345,000円</p> <p>(1) 入館者数 51,705人</p> <p>(2) 施設修繕等 舞台照明設備等の改修に係る実施設計を実施した。</p> <p>(3) 主催事業 前記社会教育企画費 ((3) ととり県民カレッジ講座の開催) に記載のとおり</p> <p>(4) 鳥取県教育委員会指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の開催 指定管理者に管理を行わせている県立施設の管理運営状況の評価を実施した。</p> <p>(流用653,820円のうち、296,000円は社会教育企画費より流用、357,820円は船上山少年自然の家運営費から流用)</p>										
生涯学習センター空調設備更新事業	(0)	(0)	(29,900,000)	(0)	(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	(0)	(100.0)	
	48,431,000	△9,655,000	29,900,000	0	68,676,000	68,675,200	0	800	100.0	
<p>生涯学習センターの空調機4台の更新工事を行った。(工事期間：令和3年12月～令和4年11月)</p>										
生涯学習センター舞台照明設備改修事業	0	72,760,000	0	0	72,760,000	61,020,000	11,740,000	0	83.9	
<p>生涯学習センターの舞台照明設備等の改修を行う。(設計・工事期間：令和4年5月～令和5年9月)</p> <p>(繰越となった理由) 継続費であるため、令和4年度執行残を全額令和5年度に繰越する。</p>										

事業名	予算			現額		支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
目 計	(0)	(0)	(29,900,000)	(0)	(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	(0)	(100.0)	
	144,861,000	61,580,000	29,900,000	653,820	236,994,820	225,193,920	11,740,000	60,900	95.0	
合 計	376,688,000	41,781,000	(29,900,000)	(0)	(29,900,000)	(29,900,000)	(0)	(0)	(100.0)	
			29,900,000	8,384,000	456,753,000	376,468,795	55,355,000	24,929,205	82.4	

8 予備費の充用調べ  
該当なし

9 現金の取扱状況  
該当なし

10 財産に関する調べ  
(1)公有財産  
ア 土地

(令和5年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産					増加 減少	R R			R R		0 0		
計			99,830.41	45,739,686							99,830.41	45,739,686	
普通財産					増加 減少	R R			R R		0 0		
計			0.00	0							0	0	
合計			99,830.41	45,739,686							99,830.41	45,739,686	

イ 建物

(令和5年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等 (内訳)	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産					増加 減少	R R			R R		0 0		
計			12,601.30	1,945,078,261							12,601.30	1,945,078,261	
普通財産					増加 減少	R R			R R		0 0		
計			0.00	0							0	0	
合計			12,601.30	1,945,078,261							12,601.30	1,945,078,261	

ウ 山林  
該当なし

エ 不動産売却等  
該当なし

オ 財産の交換  
該当なし

カ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)  
該当なし

キ 物権  
該当なし

ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案件等)

(ア) 異動状況  
該当なし

(イ) 出願及び登録の状況  
該当なし

(ウ) 活用の状況  
該当なし

ケ 有価証券  
該当なし

コ 出資による権利  
該当なし

(2) 金書類の保有状況  
ア 金書類の保有状況  
有 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和5年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		本年度未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
90枚	0枚	2枚	88枚

(3) 基金  
該当なし

(4) 債権  
決算資料提出データベースに提出済

1 1 財産の貸付及び使用許可調べ  
 (1) 土地及び建物  
 了 土 地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考	
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名		
行政財産	電力供給配電線支持物設置	西伯郡大山町赤松明間原312-1 (県立大山青年の家)	電柱8本、支線3本	R4.2.25	H29.3.22	R4.4.1 ~ R9.3.31	9,680	9,680	米子市加茂町二丁目51番地 中国電力ネットワーク株式会社 米子ネットワークセンター			
												有線テレビジョン放送施設設置
	電気通信設備設置	鳥取市扇町21番地(県立生涯学習センター)	共架線	R4.3.16	H25.3.1	R4.4.1 ~ R9.3.31	1,500	1,500	鳥取県鳥取市湯所2-258 西日本電信電話株式会社			
計												
普通財産												
計												
合計												

イ 建物  
 該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏名	所名			
緞帳	1	フック刺しゅう巾14.8m×高さ5.5m	H31.4.1 ～ R6.3.31	無償	無償	鳥取市扇町21番地 (公財)鳥取県教育文化財団理事 長	生涯学習センター	施設の管理運営に供 するため		
グランドピアノ	1	ヤマハCF	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
デジタル印刷機	1	リソグラフ RZ670	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
キセノンペンスポットライト	2	松村電機製作所 SUPERSOL-1003SR/e	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール用デジタルミキ サー	1	ヤマハCL-3、ヤマハRio 3224-D	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール用音響システム	1	BOSE ESP-002	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール用音響機器	1	BOSE社 RM5520, RM7060, LT 9403 DS16SB, 802-3SG, 62 OM JBL:LSR305	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ホール吊幕(諸幕)	1	(株)ナカヤマ 貫八綾別 珍・防炎品	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
ポーターライト	1	150Wハロゲン×63灯 上下・中区分=12.6m	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
除雪機	1	フジイSD1123DK2	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	大山青年の家	"		
絵画	1	油絵60号額縁付き「漂流」	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
公用車	1	セレナ AT 4WD	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
食器洗浄機	1	(株)マルゼン 本体1台 MDDGB8E R、専用作業用クリーンテーブル2台 及びステンレスフード1台は仕様書の とおり	R3.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		
絵画	1	初雪の大山 100号	R4.3.30 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"		

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料 (円)		貸付先 住 氏 名	使用場所	貸付目的	備 考
				単価	本年度の 貸付料				
エルネット受信システム	1	TA-CSH575S,TD- MD100G,D-5100-06	H31.4.1 ～ R6.3.31	無償	無償	米子市米原8-11-49 TKSS 富士総合警備保障共同企業体 (株)TKSS代表取締役	船上山少年自 然の家	施設の管理運営に供 するため	
公用車	1	パジェロ 三菱LA- V73WLRUVQ	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
食器洗浄機	1	PA-13A2	R3.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	日本画(船上山北壁)F30 号	H31.4.1 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
絵画	1	雪間の日ざし 100号	R4.3.30 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
スチームコンベクション オーブン	1	(株)マルゼン ガススーパ スチームSSCG-06D ※標準 附属品一式、専用架台、ホテ ルパン三種付	R5.3.24 ～ R6.3.31	"	"	"	"	"	
合計					-				



12 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の状況			借受先 住氏名	備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 単価		
土地	山林	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-2	26,647	有	S51.5.18日存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長 本課で 契約締結	
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-11	299	有	S51.5.18日存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長 "	
土地	原野	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-4	214	有	H2.4.27日存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町山川1807-2 以西財産区管理者 琴浦町長 "	
土地	畑	施設運営のため	東伯郡琴浦町山川1807-12~14	751	有	H2.4.27日存続中	月額・年額 無償	東伯郡琴浦町赤碕1142-3 琴浦町 琴浦町長 "	
合計							0		

13 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積		貸付(使用)料(月額) (円)
		(m)	(円)	
行政財産	鳥取県西伯郡大山町赤松明間原312番地1	12.5	1000	
普通財産				

(2) 減免の考え方

公有財産事務取扱要領第11の4の4(通勤手段として勤務先官公署への交通機関が確保できない場合に該当するときに減免。  
(深夜・早朝の業務に従事する職員は公共交通機関の利用ができないため。)

(3) 使用料の見直し  
該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

15 備品の処分状況調べ

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	売 払 棄 却 の 別	処 分			備 考
				売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額	
冷凍庫 ホンザキ電機(株)HF- 150PS	平成8年5月28日	令和4年6月29日	棄却	耐用年数超過に より更新したため	令和4年9月27日	円 0	円 0 更新時に引 取を依頼
カラーテレビ他 36型パナソニックTH- 36FP50	平成15年9月26日他	令和4年8月4日	棄却	故障、修理不能に より今後使用見込 みがないため	令和4年9月27日	円 48,950	円
蒸し器 タニコS-TSB-60	平成10年4月1日	令和4年12月27日	棄却	耐用年数超過に より更新したため	令和5年3月8日	円 0	円 0 更新時に引 取を依頼

16 貸付金等状況調べ

該当なし

○ 意見、要望等

(1)業務に関する要望等

特になし

(2)監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし